

平成23年度

農山漁村再生可能エネルギー導入可能性調査支援事業

評価報告書

<平成25年度報告>

島根県版

事業評価報告書

1. 調査結果を活用した再生可能エネルギー電気を供給する取組の概要

1) 報告書事業スキームの3案について

取組主体	取組概要
雲南市	<p>雲南市では、本調査の結果を受け、導入可能性調査に関して検討された。</p> <p>一般社団法人 新エネルギー導入促進協議会の「平成 25 年度スマートコミュニティ構想普及支援事業費補助金(スマートコミュニティ構想普及支援事業)」にて検討された。</p> <p>事業内容として、里山のエネルギー利用の推進、里山の小規模多機能自治への挑戦を進めるために、中山間地域におけるスマートコミュニティを導入することの効果と事業性を検討し、中山間地域におけるスマートコミュニティモデルを構築することを目的として検討された。特に、山間部集落の実現プロジェクトで分散型電源として太陽光発電、小水力発電からの電力供給を、蓄電池を介して供給する、スマートビレッジのモデル検討である。</p> <p>①山間部集落のスマートビレッジ化プロジェクト</p> <p>山間部集落に電力需要が小さいため投資回収効果が小さく採算が得られない。現状では行政の支援が必須条件である。集落からの支援要望が行政側になれば実現しない、という結果であった。</p> <p>②行政中心部のスマートビレッジ化プロジェクト</p> <p>エネルギーマネジメントシステムとバイオマスの小規模発電によるシステムは、エネルギー効率が低く採算性が得られない。これは木質バイオマス・RDF の熱量が低いことによる。これを改善するために、平成 26 年度に雲南市が木材乾燥施設の検討を進められている。</p>
由志園アグリファーム(株)	<p>由志園アグリファーム(株)では、雲州人参の栽培に適応させた形での太陽光発電の実施を検討中である。現在も引続き検討をされている。</p>
農山漁村団体	<p>農山漁村の団体では、漁港漁場の沿岸地域における太陽光発電の取組をされている事例は、現在のところ、確認していない。</p>

2) ヒアリング内容（農山漁村に関連する内容）

取組主体	取組概要
<p>(株)メイプル牧場</p> <p>※益田市より情報提供</p>	<p>メイプル牧場では、施設における太陽光発電を利用した肥料製造施設（畜糞乾燥肥料製造施設）へ利用されている。発電能力として、燃料製造能力 165kg/h、乾燥能力 20t/日である。</p>

2. 評価

現在、島根県における農山漁村における再生可能エネルギーの取り組みは検討段階であり、実施するまでに至っていない。本事業の目標である平成 27 年度末で島根県下における再生可能エネルギー電気を供給する取り組みが3箇所以上行われることについては、引続き、取組主体および市町村に情報提供を行うことで目標を達成することを目指す。